

第 18 回企画運営委員会（13.3.5）のまとめ

平成 24 年度江南区福祉の学び舎事業の第 18 回（通算）企画運営委員会は 3 月 5 日（火）に江南区役所多目的ホールで開催されました。

今回は、平成 24 年度に実施した事業内容をふりかえりながら成果や課題についての意見交換と、平成 25 年度事業の企画案について協議を行いました。話し合いの内容は以下のとおりです。配付資料とあわせてご覧ください。

平成 24 年度事業の事業評価

【ささえ合いマップづくりについて】

- どこの地域で行うかがポイントである。
- 小さくてもいいから、どのように広げていくかが課題である。
- 理解がむずかしいと思う。
- こんなやり方があるんだとわかった。
- 地元はどんな風に受けとめてるのだろう。
- コミの力はすごい。
- 「マップづくり」と呼ばないほうがいいのではないか。
 - *しくみとして捉えて名前を変える。
 - *「地域の現状把握」というとハードルが下がるかもしれない。
- マップづくりは手段であり“その先”がある。別な手法も合わせて考えないといけないだろう。
- 各地区での地域の状況把握
 - （両川）要援護者の把握がしきれていない。自治会長さんが変わったりして難しいのだが、なんとかしたい。
 - （早通）状況を知るため、よそには出さないというルールでマップという形式でなくやってみた。個人情報問題は問題にならなかった。しかし、状況はすぐに変化するので、更新は必要と感じている。
 - ※今回マップづくりを行った浦町自治会では、状況把握の過程を重視したため更新はなし。

(曾野木) 災害時支援の目的でマップができた。許可を得られた人の一覧もあり。

掲載を希望しない人もいるが、一人暮らしの人のことは気にしている。100%把握するのは難しい。

○「子ども」の状況把握を入れてもいいかもしれない。

■(まとめ) マップづくりでは“その先”をどうするかが大切。地域福祉は柔軟でルールがないものである。それぞれの地区の実状・目的によって、やり方は変わるので独自のマップづくりと考えていくべきである。(いくつかの例もあり)

【学生ボランティア・マッチングプロジェクトについて】

○ボランティア募集の仕方が分かった。

→相手(学生)のメリットも考えなければならない。

→受入側の気持ちも伝えるべき。

→“入口”は大切である。

○「手伝いたい」と思う学生が多いと感じた。ボランティアに抵抗がないのだろう。

○募集実験の結果がゼロだったのが残念。もうひとひねり必要かもしれない。

○大学側の対応が残念だった。

○学生側も卒業したり就職活動などで状況や人材が変わることも把握しておくべき。

○高校生も活用してはどうか。向陽高校では実績がある。七味の会では幼稚園児から小中学生に関わってもらっている。早い時期から関心を持ってもらうことが大切。

○マッチングの可能性は見えたので、今後も地道に続けていきたい。

○参加の場を作っていくことも大切。

→ゴミ出しボラに手を挙げる中学生も多い。

→中学校の職業講話で福祉の話をする、真剣に聞き「何かしたい」という子どもも多い

○4月の区の事業に参加してほしい。若者の参加は喜ばれる。

■(まとめ) 今年度の活動で学生ボランティアとのつながりができ、募集のポイントがわかったので、今後も地道にマッチングを続けていきたいと思います。

【その他】

○企画運営委員会をもっと活発に行っても良かった。委員を増やしてもいい。

平成25年度事業の内容について

- （仮）江南区保健福祉総合センターに住民はどのように関わるか？（新規）
 - まずは知ることから。しかし...
 - *まなびや事業と関係なくなりそう。
 - *亀田以外の人に関心がないと思う（センターに行くのに車の人はいいが、足がないと厳しい）。
 - いろいろな地区の人に使ってもらいたいという気持ちがある。
 - *さまざまな人が使えるよう、必要な“ソフト”を考えるのはどうか。
 - メンバー（限られた人）や話し合う内容が重要となる。

- 学生ボランティア・マッチングシステム（継続）
 - *活動団体（学生サークル）の見本市的なものやっては？
 - マッチングがすぐにできそう。
 - 学生の間でも横のつながりを求めている。
 - 大学だけでなくNSGなどの専門学校も加えてはどうか。
 - 江南区の催しやボランティア活動の予定表を作ってはどうか。
 - 見本市はネットワークづくり交流会とつなげられそうなので、交流会のスタイルもちょっと変える必要がありそう。

- ささえ合いマップづくり（継続）
 - *手を変えて呼びかけるか？
 - *知るための体験会をやってはどうか。

以上です。今後ともご協力をどうぞよろしくお願いいたします。